

教育相談Q&A

◆集中することが苦手で自分勝手な行動をとりがちな小学生

【Q】小学校二年生の男の子の母親です。授業中、先生の話を集中して聞くことができず、自分の好きなことをしてしまいます。また、友達とのコミュニケーションが上手くとれず、けんかになることもあるようです。今後、学習や生活が皆と一緒にできるか心配です。どうしたらよいでしょうか。

【A】小学校低学年は、何事においても興味・関心が高く、意欲旺盛で活発な時期です。ただ、話を集中して聞けず指示を聞き逃したり、友達と仲良くできなかったりすると、授業中や休み時間に困ることが増えて、お子さんの自信が失われてしまうことが心配されます。お子さんがもっている良さを伸ばしつつ、困難さを克服しながら成長できることが望ましいと考えます。

そのために、次の点を考えてみながら克服すべき困難さに対応してみてはいかがでしょうか。

①視覚的に工夫して、集中が持続しやすい環境作りをしましょう。

話を集中して聞くことが苦手なお子さんは、言葉での指示や説明だと伝わりづらい可能性ががあります。話すだけでなく、内容を文字や絵にしてメモに書き残すなど、視覚的に分かるよう工夫すると理解

しやすくなります。また、視界に入る様々なものに意識が向きやすく、集中できない場合もあります。集中して取り組むには、注意が分散しにくい環境づくりが必要になります。使うものだけ出す、掲示してあるものを最低限のものにするなど、視界に入る情報を減らすと集中しやすくなるでしょう。担任に相談し、座席の位置を配慮してもらうといった方法もあります。お子さんの特性を知り、それに応じて、学校と協力して対応していきましょう。

②気持ちのコントロールができるよう、具体的な方法を教えましょう。

気持ちの伝え方を知らないことや、「自分がやらなければいけない」「間違えてはいけない」という考え方を強くもってしまう傾向があるならば、「頼み方」「謝り方」などを教えることも一つの方法です。また、「お願いしてもいいんだよ」「誰でも間違えることがあるよ」と、繰り返し話して、じつくりと成体験を積み重ねてあげることも大切です。自分の気持ちをコントロールできたときには、必ず認め、褒めてあげましょう。

お子さんにとって困難なことについては、学校の先生も把握しています。授業中の支援など、気になることがありましたら、まず学校に相談し、一緒に考えていくことが大切です。

◆教育センター分室(リベラ)では、教育に関する様々な相談をお受けしておりますので、ご利用ください。

教育センター分室(リベラ)

住所 川越市市場2649の1

面接相談(予約制) TEL 234-83333

電話相談 TEL 234-83335

給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～

今回紹介するのは
みずな



川越市マスコットキャラクター
とさも



米粉めんとみずなスープ(右碗)

水菜の旬は12月～3月で、今が一番おいしい時期と言われています。野菜が不足しがちな冬場に収穫できることもあり、古くから親しまれてきた『京野菜』のひとつです。本来はピリッと辛みのある水菜ですが、最近では品種改良が進み、茎もやわらかく、生でも食べられる辛みの少ないものが全国で売られるようになっています。

学校給食では福原地区で収穫された水菜を、調理員が泥などを丁寧に洗い落とし「米粉めんとみずなスープ」などで使用しています。見た目は細くて繊細ですが、実は緑黄色野菜。含まれるカルシウムはなんと小松菜の1.3倍！成長期の子どもたちだけでなく、大人の骨粗しょう症予防にもおすすめです。ご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか。

【菅間学校給食センター下処理室にて】シンクに水をはり、洗っては次の槽へと順に移し、4回洗っています。

2月～3月に子どもが参加できる各種講座など

講座名・催し名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
アニメ映画会 「注文の多い料理店」ほか2作品	2月11日 13時30分～	○	中央図書館 TEL222-0559 FAX224-7822
子ども映画会 「ピーターパン(吹替え)」	2月17日 13時30分～	○	
アニメ映画会「忍たま乱太郎-武 道大会の段・麗しき友情の段-」	3月10日 13時30分～	○	
子ども映画会 「きつねの窓」ほか2作品	3月18日 13時30分～	○	
はるのおはなし会	3月27日 15時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		西図書館 TEL237-5660 FAX237-5661
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712 FAX228-7713
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550 FAX238-7551
ぬいぐるみおとまり会とおはな し会	3月7日 15時30分～ 申し込み=2月7日、9時30分から来館または電話(定員10人)		
子ども体験教室 「むかしの道具を使ってみよう」	2月10日・17日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分		博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「弥生機で真田ひもを織ろう」	3月3日 10時～15時30分(12時～13時30分休憩) 申し込み=2月14日、9時から電話またはファクス(定員15人)		
子ども体験教室 「和紙作りに挑戦」	3月10日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=2月20日、9時から電話またはファクス(定員各回15人)		
子ども体験教室 「わら細工に挑戦」	3月17日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=3月2日、9時から電話またはファクス(定員各回10人)		
季節のあそび ～テラコッタを作ろう～	3月10日 10時～11時30分 申し込み=2月8日、10時から電話、ファクスまたは直接来館(先着30人)	○	大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
春休み子ども映画会	3月27日・28日 10時30分～12時	○	
障がい者親子太極拳教室	3月4日 10時～11時30分 申し込み=2月7日、10時から参加費 100円を添えて直接来館(電話、ファクス可)(定員10組)	○	名細公民館 TEL231-0001 FAX239-1166
おはなし会	3月1日 10時～10時40分		高階南公民館 TEL245-3581 FAX240-1752
子ども卓球広場	2月3日、3月3日 13時30分～15時30分		
子ども囲碁将棋広場	2月17日、3月17日 9時～11時	○	
人形劇フェスティバル	3月11日 10時30分～11時30分		
土曜子ども映画会	3月17日 10時～11時		
ジュニアスキー教室	3月16日(20時発)～18日(19時頃着) 会場=長野県菅平高原スキー場 申し込み=2月13日必着でハガキ *詳細はスポーツ振興課へお問い合わせください。	○	スポーツ振興課 TEL224-6094 FAX224-8712
ジュニアアーツスクエア3月	3月24日 申し込み=3月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)		美術館 TEL228-8080 FAX228-7870

* 日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

* 〇の講座は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

* 「中学生」の欄に○がついている教室は、中学生にもお勧めの講座です。

博物館「むかしの勉強・むかしの遊び展」開催中!

「むかしの勉強・むかしの遊び展」では、昭和30～40年代を中心に、電化製品の普及による生活の変化を、収蔵資料でご覧いただけます。学校の教室や家族団らんの居間、駄菓子屋の店先が再現されるだけでなく、今年度の展示では、実際に「触れる」展示や夏の夜の必需品「蚊帳(かや)」などがあります。

展示期間中には全市立小学校の3年生が、この展示を活用して社会科「川越市の人々のくらしのうつりかわり」の学習を行っており、特別展示室で冷蔵庫の「今とむかし」について博物館職員のミニ授業を受けたり、再現された大型展示で調べ学習をしたりしています。また、体験学習室では洗濯板を使った洗濯や炭火アイロン、石うす等を学習アドバイザーと一緒に体験し、「今とむかし」の道具を比較しながら、人々のくらしの移り変わりに想像を巡らせています。



<第28回 むかしの勉強・むかしの遊び展>

2月25日(日)まで開催中です。

10日(土)と17日(土)には、子ども体験教室「むかしの道具を使ってみよう」(予約不要)を開催します。ぜひ、ご家族でお越しください。

詳しくは、博物館までお問い合わせください。

TEL 222-5399



し 知って 得 ぶん 文化財 第38回

このコーナーでは、子どもたちにわがまち川越のことを知ってほしいとの思いから、川越の文化財をわかりやすく紹介します。

「ハニワのふるさとを探して ～南大塚4号墳の男子ハニワ～」

市内豊田本にあった南大塚4号墳は、今から1,400年くらい前に造られた前方後円墳です。この古墳からは、ずきんを被ったおしゃれなハニワが発見されています。このハニワはどこで焼かれたものなのでしょう？



男子ハニワ 南大塚4号墳出土
(市立博物館で展示中！)

南大塚4号墳は市内豊田本にあった全長40mの前方後円墳です。昭和61年に発掘調査が行われ、人物や馬、家や大刀などたくさんのハニワが出土しました。左側の写真の人物ハニワはその中の一体です。

この人物ハニワは最初は古墳の上に置かれていたものですが、長い間に古墳のまわりの堀に落ちて壊れ、頭の部分だけが発見されました。性別は男です。頭には袋のようなずきんを被り、耳にはイヤリング、首にはネックレスをつけており、なかなかおしゃれです。髪は後ろで束ねて長く垂らしています。

この男子ハニワはいったいどこで作られたのでしょうか。実は埼玉県内ではハニワを焼いた登り窯の跡が何ヶ所か見つかっています。その中には南大塚4号墳と同じようなずきんを被った男子ハニワを焼いていた登り窯もあります。それが鴻巣市の生出塚埴輪窯跡です。

ここで焼かれた男子ハニワが右下の写真です。どうです、似ていますか？生出塚埴輪窯跡は行田市のさきたま古墳群のハニワを焼いていたハニワの大規模工場の遺跡です。ここで焼かれたハニワは遠く千葉県市原市の山倉1号墳にも運ばれています。南大塚4号墳の男子ハニワもこの生出塚埴輪窯跡で焼かれ、はるばる運ばれてきたものと考えられます。

ここで焼かれた男子ハニワが右下の写真です。どうです、似ていますか？生出塚埴輪窯跡は行田市のさきたま古墳群のハニワを焼いていたハニワの大規模工場の遺跡です。ここで焼かれたハニワは遠く千葉県市原市の山倉1号墳にも運ばれています。南大塚4号墳の男子ハニワもこの生出塚埴輪窯跡で焼かれ、はるばる運ばれてきたものと考えられます。



男子ハニワ 生出塚埴輪窯跡出土
(写真提供：鴻巣市教育委員会)



ハニワ工房の想像図

(図：山川百合江 提供：鴻巣市教育委員会)

市教委だよりNo.113 発行／川越市教育委員会教育総務課 TEL (224) 6074 (直通)